

3. 大腸がん

○

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり ×: なし

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数				治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日									各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	状況	手術		内視鏡的治療		化学療法	放射線療法		光線力学療法	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容				
				開腹手術	腹腔鏡下手術	EMR	ESD		体外照射	小線源治療				治療内容	治療実績	医師の専門分野		
1 消化器外科	7	2	状況 実績	○ あり	○ あり	× なし	× なし	○ あり	× なし	× なし	× なし	大腸癌治療ガイドラインに従って治療方針を決定。進行度にあわせて腹腔鏡下手術を含めた適切な術式を選択します。肝・肺に転移がある場合も手術・化学療法で集学的治療を行います。直腸癌に対しては人工肛門や二期的手術をできるだけ回避します。	ア イ	大腸がん http://www.takatsuki.aijinkai.or.jp/cancer/cure/colorectal.html 外科・消化器外科 http://www.takatsuki.aijinkai.or.jp/department/surgery.html	掲載あり		掲載あり	掲載あり
2 消化器内科	16	11	状況 実績	× なし	× なし	○ あり	○ あり	○ あり	× なし	× なし	× なし	NBIや拡大内視鏡を用いた正確な進展度の診断を行い、早期癌に対してはEMRや病変によってはESDによる内視鏡治療を積極的に行います。進行した大腸狭窄例ではステント留置を行い、外科チームと協力して最良の治療を目指します。	ア イ	大腸がん http://www.takatsuki.aijinkai.or.jp/cancer/cure/colorectal.html 消化器内科 http://www.takatsuki.aijinkai.or.jp/department/digestive-organs.html	掲載あり		掲載あり	掲載あり
3 放射線治療科	1	1	状況 実績	× なし	× なし	× なし	× なし	× なし	○ なし	○ なし	× なし	放射線治療専門医、がん放射線治療認定看護師、放射線治療品質管理士、放射線治療専門技師、医学部物理士(非常勤)などの専門スタッフによるチーム医療を実践しています。	ア イ	放射線治療科一般 http://www.takatsuki.aijinkai.or.jp/cancer/cure/radiology.html 放射線診断科・放射線治療科 http://www.takatsuki.aijinkai.or.jp/department/radiation-therapy4.html	掲載あり		掲載あり	掲載あり
4			状況 実績										ア イ	http:// http://				
5			状況 実績										ア イ	http:// http://				

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例: 結腸がん、直腸がん、肛門管がん 結腸がん、直腸がん、直腸カルチノイド
------------------------------------	--